

## 令和3年度 授業改善推進プラン

## 教科名（音 楽）

<p>学習状況と 課題分析</p>	<p>音楽に対する関心や意欲は高く、日頃の授業や合唱コンクール練習にも熱心に取り組んでいる。授業では、伸び伸びと活動している生徒が多く、努力する姿勢が見られる。今年度も昨年度に引き続き、歌唱活動が制限された中での授業となるため、器楽、創作、鑑賞を今まで以上に工夫して取り組まなければならない。授業では基礎基本を定着させ、音楽を作り上げていくしくみを理解し、身に付けさせたい。</p> <p>創作や発表活動で、自分を表現することが苦手な生徒も多い。日頃から、練習や発表などの形態を工夫する必要がある。また、音楽を聴き取った際などに自分の考えがまとまらず、意見や感想文を書くことに困難さを感じている生徒もいる。1年生から段階を経て、音楽に対して根拠をもって自分なりに批評することのできるような力を育成することが今後の課題である。</p>	
<p>授業改善に向けての取組</p>	<p>主体的・体験的な学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽を楽しむことのできる雰囲気作りを心がける。生徒が考え発言する機会を増やす。</li> <li>○ 音楽活動の中で、互いの音を聴き合うことが互いを思いやり理解し合うことにつながる。技術面の上達だけではなく、心のこもった音楽を奏でることを目指す。</li> <li>○ ほめる場面を増やす。</li> <li>○ 聴く時のマナーを身に付けさせる。</li> <li>○ 自己評価表を用いて、自分の活動を振りかえることで、小さな「できた」を発見できるようにし、自己肯定感を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
	<p>個に応じた指導 基礎基本の充実・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○ 自主練習の時間を設け、ペアを組んで活動することにより、対話しお互いに学びあい、表現する力を育てる。</li> <li>○ 楽譜を読むための発想記号等が身に付くよう、常に授業の中で取り上げ、実際の演奏に生かせるようにする。</li> </ul>
	<p>評価について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽曲の構成、作曲者の生涯、時代背景などを学習し、曲を聴くポイントを押さえながら鑑賞させ、ワークシートを工夫して評価する。</li> <li>○ 曲を聴き感想を書くだけでなく、曲によって指導法を工夫し、根拠を持って批評できるようにさせ、それらの発言内容等を評価する。</li> <li>○ 音楽に対する感想を生徒が言葉で表現できるよう、文章を書いたり発表したりする機会を設ける。曲を聴く際は、質問内容、ポイントを明確にし、ワークシートの内容を工夫する。</li> </ul>